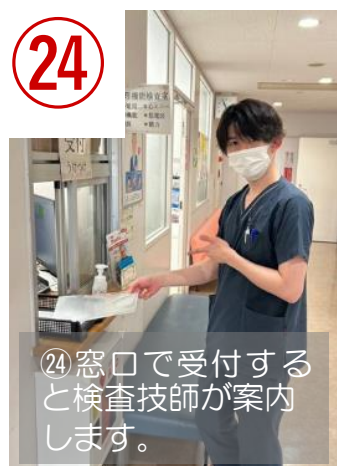


生理検査の歩き方

まず、「生理検査」とは…？

生理機能検査ともいい、医療機器を用いて、患者さんに直接接して行う身体の機能や形態を調べる検査のことです。

24



②4窓口で受付すると検査技師が案内します。



不整脈の持ち帰り検査ができます！

携帯型心電計の貸出・診断→

不整脈の精密検査では、携帯型心電計(→)を家に持って帰って、より簡便に検査できるようになりました。1週間貸出しますので、日常生活の中で動悸や脈の乱れなどの自覚症状が出たとき、すぐに正確な心電図を記録できるのでより正確な診断につながります。



心電図記録器

軽量・コンパクト



狭心症の精密検査（負荷心電図検査）ができます！



マスター負荷心電図検査



エルゴメーター



ABI検査

マスター負荷心電図、サイクルエルゴメーター負荷心電図、薬剤投与による負荷心電図など狭心症をうたがったときの精密検査（負荷検査）はすべて可能。
 さらにチーム医療で心臓超音波検査、心筋シンチ、冠動脈CTなどの検査もすぐに連動できます！



呼吸機能検査も充実！

間質性肺炎、喘息・COPDの診断や術前検査に欠かせない。



呼吸機能検査

肺年齢を知ること
もできるんです



スモライザー検査



禁煙評価のためのスモライザー検査も可能です。
 →禁煙外来もやってます！
 （木曜日14～15時予約制）

精密肺機能検査が充実！ 気道抵抗（モストグラフ）、気道可逆性試験、拡散能、呼気一酸化窒素濃度（FeNO）など、なんでもできます。



脳・神経機能検査もいろいろできます。

脳波・ABR・VEP・筋電図など



脳波検査



ABR・筋電図検査装置



VEP検査

小児から大人の脳波検査はもちろん、「聞こえの検査」であるABR検査を実施しています。新生児・小児の発達を対象としたVEP検査では痛みを伴わないフラッシュ法で視神経から脳までの回路を調べています。



当院は超音波医学会認定の認定超音波検査士が在籍しており 超音波検査にも力を入れています！



循環器領域の検査について

認定超音波検査士監修のもと、心大血管領域の検査を実施します。



下肢血管領域の検査について

DVT、ASOなど下肢の動脈・静脈の検査が可能です。



頸部血管超音波検査について

動脈硬化や脳梗塞疑いや罹患後の経過観察に有用です。



腎動脈超音波検査について

腎血管性高血圧を調べるため腎動脈の狭窄や腎内血流、腎臓の形態を評価します。



消化器領域の検査について

認定超音波検査士監修のもと、小児から成人の腹腔臓器の検査を実施します。

超音波検査で肝臓の線維化や脂肪肝の程度を測定します！

超音波エラストグラフィ機能を使用することで慢性肝炎や肝硬変による肝臓の線維化の程度を非侵襲的に評価することが可能です。

また、ATF機能を使用することで脂肪肝患者におけるグレードの判定ができるとともに非アルコール性脂肪肝炎（NAFLD）の診断にも役立ちます。



立ち止まらない！新たな検査への取り組みについての紹介

その① 運動耐容能評価：6分間歩行検査

フレイル・プレフレイルにて入院された患者を対象とした運動耐容能評価として6分間歩行検査を行っております。その後、リハビリ科と連携して適切な運動指導を行っております。すこやか長寿サポート外来（フレイル外来）に是非ご紹介ください。（木曜日13時～ 予約制）

その② 超音波検査による褥瘡の評価



皮膚の発赤像



皮下の正常像



表皮
真皮
脂肪組織
筋骨



DTIを疑う画像



深層に疑う画像



6分間歩行検査

院内のNST・褥瘡委員会と連携し、入院患者の褥瘡を超音波検査にて評価しています。特に肉眼的に評価がしにくい深部損傷褥瘡（DTI）の際にはその威力を発揮し早期発見と治療介入の一役を担っています。